

## 特別研修

### 月例研究会 議事録 ( 11 月 )

2007 年度第 6 回

<b>報告題名 中国への農産物輸出の現状</b>	
<b>報告者 鹿嶋 純子</b> (所属分野) 情報経営	<b>日時 11月22日 午後3時~午後5時</b>
<b>座長 飯塚</b>	<b>場所 第8講義室</b>
<b>議事録担当者 小山田</b>	
<b>出席者 長谷部、木谷、冬木、川島、安部(雅)、澁谷、鹿嶋、小山田、阿部(秀)、池田、鈴木、西橋、飯塚、デッフィ、徐、伍、斯欽</b>	
<b>報告要旨</b> 近年、日本の農産物市場は、少子高齢化により国内需要は減少していく見通しであり、国際的には、WTOやEPA・FTAが進展するなか関税と農業補助金の削減が求められ、国内の農業に大きな影響を及ぼすと考えられます。国内農業を衰退させないために国際競争力のあるものにしていかなければなりません。それには、高品質、高付加価値のある安全な農産物を生産し、市場開拓の一つとして海外市場を考えます。 日本の農産物は、高価格なため国際競争力は弱めていますが、高品質・高付加価値があるという評価の日本産は、海外市場で日本農産物の新ポジションが構築できるかにかかっていると思われます。更なる販路創出・拡大を行うために、政策の現状と課題、輸出が大きく変化した台湾と中国について、事例を基に市場の現状について報告し、今後の研究の方向を決めたい。	

## 質疑・応答

**飯塚**：果物の価格についてお聞きします。この配布資料では、日本産の果物とそれ以外の果物とで、価格の比較ができないのですが、日本産はやはり高価なのでしょうか。

**鹿島**：価格については、調査できなかったためわかりません。

**飯塚**：それから、上海でのりんごの価格について。日本産のりんご同士での価格にだいぶ開きがあり、一番高いりんごは一番安いりんごの3倍も高価なのですが、これはりんごの品質が影響しているのですか。

**鹿島**：そうです、品質によって価格に格差が生じています。

**飯塚**：鹿島さんは、上海が中国を代表する市場であるので、そこに行った、ということですが、上海ぐらゐの大きな市場でなければ、日本産の農産物は扱われないということでしょうか。

**鹿島**：その点に関しては、現段階ではわかりません。いずれ調査したいと思います。

**冬木**：台北百貨店で米の価格についてですが、これを見ると、台湾の一般米でさえ、日本で売られている米よりも高い価格がつけられていますね。台湾で消費される米はジャポニカが多いのでしょうか、インディカが多いのでしょうか。

**鹿島**：私が視察した百貨店ではジャポニカが多かったです。

**冬木**：ではこれが主食だとすると、非常に高い米を食べているということになりますね。この条件が事実だとして、台北に米を輸出すれば、他の米よりは高くなりますが、それでも売れる可能性はあると思います。

あと、今回は小売店での販売のみに着目していますが、このようにひとつひとつの商品を扱う場合は、流通も含めた、フードシステム全体を考察する必要があります。

**長谷部**：日本の農産物に対する消費者ニーズの調査は行っているのでしょうか。

**鹿島**：調査を行った文献はあります。

**冬木**：最近、新潟大学の木南莉莉さんがそのようなアンケートを行っているので、調べて見られたほうが良いと思います。

**川島**：台湾でどのくらいの農産物を輸入していて、そのうち日本のシェアがどのくらいなのか、というデータはあるのでしょうか。

**鹿島**：これから調べたいと思います。